



WORLDVIEW LEGION

 data sheet



WorldView Legion

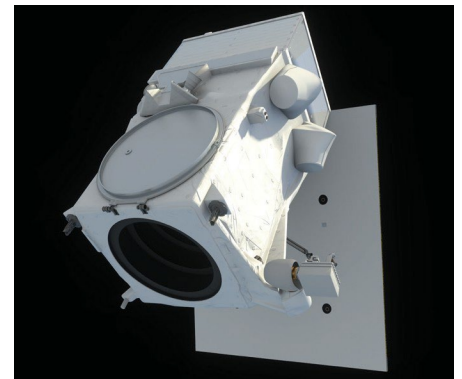
WorldView Legionは次世代の地球観測衛星です。Maxar社によって設計

・製造される6機の衛星は、様々な顧客のニーズに合わせて設計され、既存のミッションの継続性を実現します。太陽同期軌道と中傾斜軌道の組み合わせにより、関心の高い地域における再訪頻度を劇的に向上し、一刻を争う決断に必要な情報を提供することが可能になります。

特徴および利点

- 超高解像度（30cmクラス）
- 様々な用途に対応する8バンド VNIR マルチスペクトル
- 業界トップの位置精度(<5 m CE90 GCPなし)
- Maxar社の既存地上局およびDirect Access Facilities（DAF）に対応した通信システム
- 顧客固有の暗号鍵で顧客地上局の直接タスキングを保護
- 受信、撮影、ダウンリンクの同時処理
- 広範囲な単画像・ステレオ画像の撮影を従来より短期間に
- 既存のWorldViewと同様の設計寿命10年

WorldView Legionには3つの処理レベル製品があります。基本画像(レベル1B)には、撮影された方向のままでラジオメトリック補正された単画像やステレオ画像製品があり、幾何補正やオルソ補正を行うユーザー向きです。標準画像(レベル2A/OR2A)は、均一なピクセル間隔で地図投影された製品であり、画像処理ソフトウェアによる画像加工や解析を行うユーザー向きです。オルソ製品(レベル3)は、高い位置精度が要求される画像利用や位置参照に最適な製品です。



Artist's rendering of a WorldView Legion satellite

MAXAR

仕様諸元

予定軌道	高度: 450 km 太陽同期軌道（SSO）および傾斜軌道（MIO）
設計寿命	期待運用期間：10年
衛星のサイズ・重量	サイズ：3m×2m×2m（ソーラーアレイの幅は含まず） 燃料未搭載重量：< 625kg
センサーバンド	Panchromatic: 450 - 800 nm 8 Multispectral Coastal Blue: 400 - 450 nm Blue: 450 - 510 nm Green: 510 - 580 nm Yellow: 585 - 625 nm Red: 630 - 690 nm Red Edge1: 695 - 715 nm Red Edge2: 730 - 750 nm Near-IR: 770 - 895 nm
予定分解能（GSD）	パングロマティック（直下）：29 cm マルチスペクトル（直下）：1.16 m
National Imagery Interpretability Rating Scale (NIIRS)	5.9
撮影幅	9 km（直下）
位置精度	< 5 m CE90（GCPなし） <1.5 m RMSE



センサーバンド

- パングロマティック
- 8バンドマルチスペクトル

解像度の種類

WorldView Legionは、29～50センチの製品解像度を維持できる軌道高度で飛行します。

MAXAR